

## 総合職試験

### 【専門試験(多肢選択式)】(化学・生物・薬学)

「化学・生物・薬学」区分は、必須問題と選択問題に分かれています。全部で106題出題し、このうち40題解答します。必須問題については、10題の全てを解答してください。選択問題については、96題から決められた方法により30題解答してください。

#### ○必須問題

数学・物理・化学・生物学に関する基礎 10題

#### ○選択問題

選択問題は次の16科目(各6題)、計96題から構成されています。

- ①数学・物理 ②基礎物理化学・基礎無機化学 ③物理化学・無機化学
- ④有機化学 ⑤工業化学・化学工学 ⑥分析化学・薬化学 ⑦薬理学
- ⑧薬剤学・衛生化学 ⑨食品学 ⑩土壌肥料学・環境科学・農薬
- ⑪生化学・分子生物学 ⑫応用微生物学・生物工学 ⑬発生生物学・生理学
- ⑭細胞生物学(形態学を含む)・放射線生物学 ⑮遺伝学・進化学
- ⑯生態学(動物行動学を含む)・系統分類学

16科目のうち、5～6科目を選択し、選択した科目の30～36題から、任意の30題を解答します。

\* 例えば、①、②、③、④、⑤、⑥の6科目を選び、①の6題、②の6題、③の6題、④の6題、⑤から3題、⑥から3題の合計30題を解答することができます。

### <受験者へのメッセージ>

特定の専攻分野に偏らないようにそれぞれの専門から幅広く出題します。



大学の専門課程で学習する基本的な教科書を勉強するとよいでしょう。



基本的な知識の習得はもちろんのこと、それを組み合わせて応用し課題を解決する力も高めておきましょう。

